

ちくしのびと

chikushinobito ⑦

プロスポーツとして
ジャパン・プロフェッ
ショナル・バスケット
ボールリーグ、通称B
リーグが発足して早8
年。映画でもバスケット材のアニメ作品が国内外で人気を博し、バスケット熱が再び高まっているようです。そんなバスケットの世界で、全国を舞台に活躍している「ちくしのびと」がいます。

富永蓮太さん。令和5年3月に天拝中学校を卒業した高校1年生で、令和5年1月に行われた第3回全国U15バスケットボール選手権大会において当時所属していたライジングゼファークラブ岡U15・ジュニアユースチームを全国大会優勝へと導いた立役者です。
富永さんは、中学生ながら190センチメートルという高身長と屈強な体つきで、全国大会でもゴール下でその力を発揮し、全国にその名をとどろかせました。

バスケットとの出会い

そんな富永さんがバスケットと出会ったのはほんの偶然からでした。

小学4年生の当時、空手少年だった富永さんは何か新しいことを初めてみたいと考えていました。空手の練習場である二日市小学校では、空手の練習の前にバスケットチームの練習が行われており、同じ日に活動ができるから、というのが、バスケットを始めるきっかけとなりました。小学生のころから同世代の中でも身長が高かった富永さん。身長を生かせるバスケットにすぐに夢中になっていったそうです。

成長のきっかけ

中学生になりバスケットを続ける中で、バスケット界の名将、鶴我隆博コーチに、プロバスケットチームのライジングゼファークラブ岡のジュニアユースチームに入らないかと声をかけられました。最初はチームのレベルの高さに加入を断っていたそうですが、新しいことや新しい環境への挑戦に魅力を感じ、加

Profile

平成19年生まれ。二日市小学校、天拝中学校卒業。小学4年生からバスケットボールをはじめ。中学3年生からライジングゼファークラブ岡U15・ジュニアユースチームに所属し、チームを全国大会優勝へと導く。ポジションはセンター。趣味は寝ること。

挑戦は続く

「今いる環境で頑張ることも良いと思います。より良い経験は挑戦の先にあると思います。常にチャレンジしていくことが大切だと思います」と話す富永さん。

富永さんは高校生活を「自分自身を見つめ直す大切な3年間」として、高校バスケット強豪校である宮崎県立小林高校へと進学を決めました。下宿生活を行いながら、日々、自分自身の限界に向き合い、バスケットの技術を磨いているそうです。

挑戦を続ける富永さんが、これから先どのように成長し、飛躍を見せてくれるか楽しみです。



シュートを狙う富永さん(クラブ提供)

挑戦と、成長と。

第3回全国U15バスケットボール選手権大会 優勝

富永蓮太さん

